

# ユニバーサルデザインの7原則

## 公平性

だれ ころへい りよう  
～誰でも公平に利用できること～

- ・広くて段差のない歩道は、みんなが快適に通れます。  
また、床が低くてスロープを備えたバスなどは、誰もが利用しやすく便利です。



## 自由度

ほうほう じゆう えら  
～いろいろな方法を自由に選べること～

- ・エレベーターに高さの違うボタンがあると、背の高さに関係なく使えます。また、エレベーターやエスカレーター、階段が近くにあれば、好きな方法を選んで上り下りできます。

## 単純性

つか かた かんたん わ  
～使い方が簡単ですぐ分かること～

- ・レバー式の蛇口などは見ただけで使い方が分かりますし、簡単に水の量や温度の調節ができます。

## 分かりやすさ

ひつよう じょうほう りかい  
～必要な情報がすぐ理解できること～

- ・大きな絵で表示された案内板は、何を表しているか直感的に分かります。



## 安全性

きけん  
～うっかりミスや危険につながらないデザインになっていること～

- ・倒れたら自動的に電気が切れる電気ストーブや、ブレーキを踏まないとエンジンがかからないオートマチック車などは、安全に、安心して利用できます。

## 体への負担の少なさ

むり しせい  
～無理な姿勢をとることなく、少ない力でも楽に利用できること～

- ・取り出し口が中央の高さにある自動販売機などは、体に負担をかけずに楽に利用できます。



## スペースの確保

つか すんぼう くうかん  
～使いやすい寸法・空間になっていること～

- ・多目的トイレは、十分なスペースに手すりやベビーベッドが備えられ、誰もが利用しやすく作られています。